

請 願 文 書 表 (平成30年6月28日定例会提出)

請願第4号

平城西中学校区における施設一体型小中一貫校の早期開校を求める請願書  
(観光文教委員会付託)

平成30年6月11日受理

請 願 者



神功地区自治連合会

会長 笹 部 和 男 外1名

紹介議員 土 田 敏 朗 道 端 孝 治

(要旨)

奈良市教育委員会が学校規模適正化に係る中学校区別実施計画(案)「後期計画」に基づき提案されている、平城西中学校区における「施設一体型小中一貫校」を早期に開校されるよう請願いたします。

(理由)

1 平城西中学校区の活性化につながります

平城西中学校区は、近鉄京都線高の原駅の西方に位置し、昭和40年代半ばごろから開発が始まった平城ニュータウンの一部です。右京地区と神功地区で構成されており、直線距離で東西2キロメートル、南北1キロメートルと非常にコンパクトな地域で、奈良市の公立中学校区の中では最も狭い校区となっています。街の様子や住民の様子は似通っており、いずれの地区も少子高齢化が進み、今後も少子化傾向が続くと予想されます。

この地区内には、平城西中学校、神功小学校、右京小学校、神功こども園(平成29年4月に神功幼稚園、神功保育園、右京幼稚園が統合しこども園となったもの)、右京保育園(こども園化が検討されている)があります。

統合前の神功幼稚園は、1学年の園児数が10名にも届かないほど減少していましたが、こども園になって177名(幼児133名、乳児44名)まで急増し、にぎやかになっています。その背景の一つは、幼稚園が親や子供のニーズに合っていなかったのに対し、こども園はニーズに合った施設であるからだと考えております。時代のニーズに合った魅力ある公共施設の整備は、地域の活性化につながると考えます。

2 適正な学校規模での学校運営を望みます

上記のような人口減少の結果、児童・生徒数が激減し、平成30年度当初の各小学校と中学校の人数は次のとおりです。

神功小学校

学 年	普通学級	同クラス数	特別支援学級
1年生	31名	1	4名
2年生	38名	2	3名
3年生	43名	2	2名
4年生	30名	1	2名
5年生	31名	1	0名
6年生	39名	2	2名
教員（校長、教頭、教諭、講師、養護教諭）		16名	

右京小学校

学 年	普通学級	同クラス数
1年生	34名	2
2年生	25名	1
3年生	20名	1
4年生	26名	1
5年生	32名	1
6年生	25名	1
教員（校長、教頭、教諭、講師、養護教諭）		14名

平城西中学校

学 年	普通学級	同クラス数	特別支援学級
1年生	64名	2	5名
2年生	58名	2	2名
3年生	80名	2	2名
教員（校長、教頭、教諭、講師、養護教諭）		15名	
非常勤講師1名			

いずれの学校も小規模校と分類される少人数の学校となっています。1クラスの学年が多く、クラスがえができないことのデメリットを心配する声が保護者から出ています。6年間クラスが固定してしまうことで、子供たちにとって多様な人間関係を学んだり、トラブルがあったときにリセットしたりする機会が奪われるといった懸念があり、複数学級を望む声が多く聞かれます（平成30年2月に実施された神功小学校PTAアンケートでは、78%の保護者が「2学級以上が望ましい」と回答）。

また、教員数が少なくなることで、バランスのとれた教職員配置やそれらを生かした指導の充実が困難になることが懸念されます。学校環境の整備や行事の運営なども、地域ボランティアや保護者の協力で成り立っていますが、そこだけに頼ることに限界があります。

地域の少年野球チームやサッカーチームも単独でチームを維持することができなくなり、

両小学校の子供を対象とするチームに変わっています。地域では既に合同での活動も進んでいます。

### 3 神功小学校老朽化・劣悪な教育環境の改善が急務です

神功小学校は開校から37年以上が経過する中で、平成28年には学期途中でプールを使用できなくなるという異常事態が生じました。老朽化問題は、プールに限らずさまざまな設備が劣化し、子供の安全で安心できる学習環境の確保が難しくなっております。その一つに雨漏りがあります。

平成26年ごろから、子供たちが学ぶ教室や普段の移動で通る階段、給食調理室などで雨漏りがしていたために、学習の妨げや転倒の危険、食の安全問題などが生じていました。昨年12月に神功自治連合会・神功小学校PTAが連名で、雨漏りをなくし健やかな学習環境を整備していただくよう要望し、これを受けて雨漏り対策工事をしていただきましたが、時間の経過とともにまたもや雨漏りが発生しています。給食調理室については、そもそも対策を講じておられません。一時的な補修では効果がなく、大規模な改修が必要な状況です。

さらに、校内放送設備にも問題があり、雨天の日には使用できないこともあります。漏電や緊急時の対応にも不安があります。

今の豊かな日本において、子供たちがバケツで雨漏りを受けながら勉強しているというのは、余りにも惨めであり、地域住民としては到底容認しがたい事態です。安全で安心できる学習環境の早期実現が急務となっています。

### 4 小中一貫教育を生かした早急な校舎の新設を要望します

校舎の十分な補修がなされないのは、統合を予定されているからです。厳しい市の財政状況を考えると、統合の方向性が示されているのに大きな予算をつぎ込むことを求めることもできず耐えてきましたが、それにも限度があります。何よりもこれからの国や地域を支える子供たちがかわいそうです。

市の統合案で示された平城西中学校は、校区のほぼ中心に位置し、右京地区・神功地区のいずれからも、十分通学が可能な場所にあります。逆にどちらかの小学校に統合することになれば、通学距離が長くなり登校への不安の声が出ることは必至です。いずれの小学校も築40年を経過していることを考えると、どちらかの小学校に統合する案よりも、中心にある中学校に新しい小学校を建てるほうが広く地域の理解が得られると考えます。

また、中学校自体も築40年が経ち、同様に老朽化しているため、中学校の大規模な改修も含んでの計画となっていることは、地域にとって大変ありがたいことです。中学校単独では小規模校のままであり、将来的に他の地区への統合も否定できません。

当地区の小・中学校は、平成20年度から施設分離型小中一貫教育のモデル校となっており、10年の取り組みで小・中や小学校間の交流を深め、成果が出ています。地域コーディネーターも中学校に本部があり、中学校区で一体的な学校支援の活動が行われています。放課後子どもクラブも、両小学校の合同企画が充実しています。これまで培ってきた小中一貫教育を継続するためにも、中学校との一体的な計画の推進を要望します（施設一体型となる

ことのデメリットを懸念する声もあるため、その課題解決に向けては引き続き丁寧な説明や議論を望みます)。

本地区は幸い交通の便もよいため、よい学校ができれば新たな子育て世代が地域にふえることも期待できます。そのような魅力ある学校の早期の開校を求めるものです。

#### 5 住民への丁寧な説明と早急な具体的推進策の提示を求めます

市教育委員会のこれまでの動きは以下のような状況です。

①奈良市教育委員会は、平成20年1月に奈良市学校規模適正化実施方針を策定し、適正化を進めることとしています。

平成28年10月に、中学校区別実施計画(案)「後期計画」を策定し、その中で平城西中学校区については「右京小学校、神功小学校、平城西中学校は小規模校であり、平城西中学校区全体の教育環境を鑑みた小中一貫教育を軸とした統合再編を検討する。」と方針を示されました。

②その1年前である平成27年9月、奈良市教育委員会参事(当時)から、神功地区自治連合会長に対して、神功小学校と右京小学校を統合したいので、神功地区と右京地区でそのための協議会を立ち上げてもらいたいと考えている旨の申し入れがありました。

神功地区自治連合会では、同時期に、地域の問題についてアンケート調査を実施しており、その中に学校統合問題についての質問もありました(学校の児童数の減少から統合せざるを得ないとの問題意識があり、このような設問も入れました)。結果は、小学校の統合については、賛成が反対を大幅に上回っておりました。また、賛成者の中では小学校だけの統合ではなく、中学校も含めた統合を求める意見の方がかなり多くありました。

このような結果を前記参事にも伝えたところ、神功と右京と足並みをそろえてほしいので、神功へは右京の様子を見て、後日お願いに行くと言われました。そこで神功地区では、その後2年間早くしてほしいとの気持ちを抑えながら教育委員会の動きを静観してきました。

③平成29年度に入り、教育委員会では主に小・中学校の保護者を対象として、本中学校区における学校規模適正化問題についての説明会をされ、平城西中学校敷地内に小学校校舎を新設する案が示されました。

その後、平成30年1月26日、当自治連合会の求めに応じる形で、平城西中学校区の住民を対象とする説明会が開催され、統合案が明確に示されました。

しかしながら、示されたのはそこまでであり、統合後の具体的な教育ビジョンや、いつの開校を目指すのかなど具体的な話はなく、住民が知りたい内容については不明瞭なままです。その後、説明会で出た質問への回答もなく、説明会等の提案もなされない状況で先の見通しが見えません。

今まさに学校で過ごす子供たちのために、早急な対応と、広く地域住民が納得のいく丁寧な説明をしていただき、早期の開校を目指していただきますよう要望いたします。